

# 石狩湾漁協女性部による「魚食普及」推進プロジェクト ～石狩湾漁協厚田女性部による胸壁ペイント事業～

実施日時 平成28年8月18日、19日、23日、27日、28日の5日間  
 実施場所 石狩市厚田地区 厚田漁港旧西防波堤胸壁  
 事業主体 石狩湾漁協厚田地区女性部（部長 中井寿美子 32名）  
 協力機関 北海道昭和会（会長 大島 一哉）  
 （塗料メーカー、塗料販売店、塗装業者の有志による、業界発展のために設立された団体）  
 石狩湾漁業協同組合  
 石狩市  
 北海道石狩振興局  
 浜の女性応援隊（道水産部局の女性職員による活動組織）

「厚田漁港を明るく元気にしたい！漁港を厚田の見所の一つにして、朝市や厚田の観光を盛り上げ、魚食普及を図りたい！女性部らしい、女性部だからこそできる取り組みが何かないだろうか…」

厚田地区女性部のそんな思いから、今回の胸壁ペイント事業が始まりました。



中井 女性部長 今 信用課長



厚田地区女性部が中心となり、真っ白に塗った胸壁に、「救命胴衣着用し 今日笑顔で いってらっしゃい！安全操業祈ってます」というメッセージとカラフルな模様を、高さ2.6m、横60mに渡り、5日間かけて仕上げました。

作業には専門的な知識が必要でしたが、『北海道昭和会』さんが全工程で全面的に協力してくれました。また、石狩市、石狩振興局水産課、浜の女性応援隊も、胸壁の清掃、塗装作業、模様の型作りなどのお手伝いで女性部をサポートしました。



初日の18日は胸壁の清掃を行いました。緑色のコケがずいぶん生えていましたが、きれいになった胸壁を見て、明日からの作業に俄然力が湧いてきました。

23日は朝から雨が降っていたため作業できるかどうか心配でしたが、11時から作業を始めることができ、当初予定していた下塗りの中塗りを順調に行うことができました。すでに女性部の腕前はずいぶん上達し、北海道昭和会さんから「ぜひうちへ！」とお声がかかるほど！！この3日間で胸壁は真っ白で艶のある、すばらしいキャンバスへと変貌しました。

19日は下地調整作業でした。下地調整剤は伸びが良くないため、くぼみにうまく剤料が入らず大変でしたが、作業中に朝市のお客さんから「出来上がりが楽しみ。また来るよ。」と言われたのがすごくうれしかったと、みなさん口をそろえて言っていました。

27日と28日は、メッセージと模様を描きました。女性部みんな頑張った、かわいくて温かいペイントが完成しました。



来年度に残りの半分を仕上げます。厚田地区内外のみなさん、ぜひこのペイントを見に厚田へ来てください！そして、厚田の朝市で、おいしいお魚をどんどん買って食べてくださいね！